

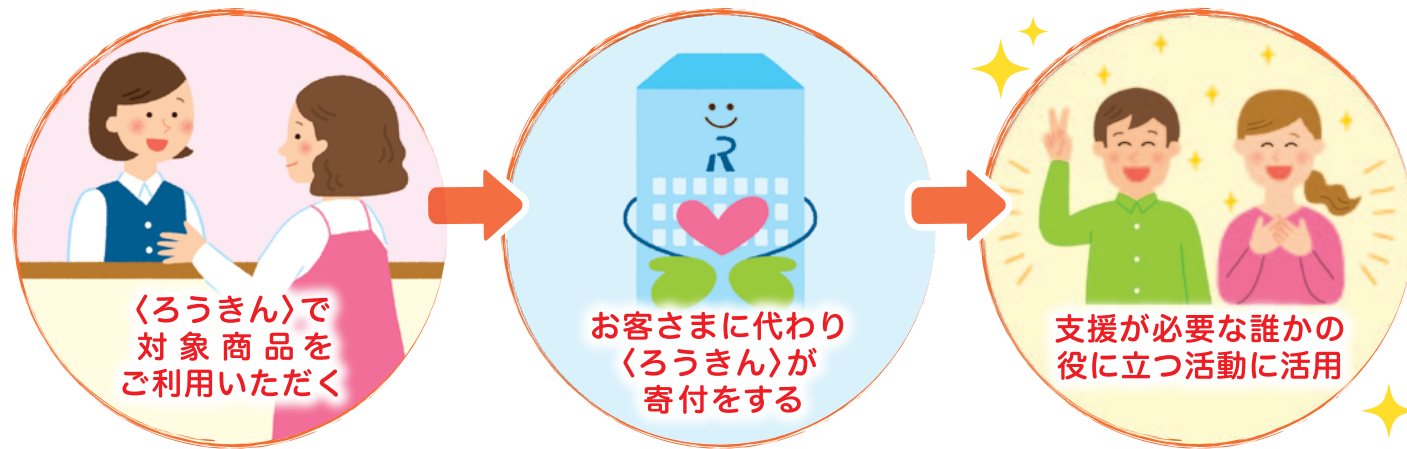
〈中国ろうきん〉を
通じた
社会貢献活動

〈ろうきん〉の利用が 誰かの笑顔に つながるしくみ

みなさまからお預かりした大切なお金は、住宅・車・教育等の低金利なローンやサービスを通じて
働く仲間のより豊かな暮らしのために役立てられます。
これは、〈ろうきん〉の誕生以来、ずっと変わらないしくみです。



〈中国ろうきん〉では、2012年4月から〈ろうきん〉をご利用いただくことで
「社会に役立つ」ことを実感していただける活動を展開しております。
2019年度も、〈ろうきん〉商品のご利用・ご契約実績に応じて、
中国5県の「いのちの電話」への支援金を寄付いたします。



お客さまのご負担なく〈ろうきん〉が寄付を行います。

対象商品

新規ご契約

- 教育ローン(カード型)
- 教育ローン(証書貸付型)
- 予約型ローン「そなYELL」(教育目的)



新規ご契約

- 学資積立「ドレミ協奏曲」

新規ご契約または ご利用限度額の増額契約

- マイプラン
- マイプランナビ
- U-30マイプラン
- ハートマイプラン



※各商品について詳しい説明書が必要な方は店頭へお申し出ください。

寄付先

「いのちの電話」 (鳥取・島根・岡山・広島・山口)

「生きたい」という心の声に耳を傾けて。

社会福祉法人
「いのちの電話」
(鳥取・島根・岡山・広島)

特定非営利活動法人
「山口いのちの電話」



1日平均45～60件の相談を受けるボランティア相談員▶

過去7年間の寄付実績

みなさまの〈ろうきん〉ご利用にもとづき、7年間で、**総額23,203,667円**の寄付を行うことができました。
みなさまのご利用を、心から感謝申し上げ、今後ともご支援とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

●2018年度 寄付実績

2018年4月～2019年3月末までの
ご利用実績数値にもとづき、下記のとおり寄付を行いました。

【ご利用内容】
教育関連商品のご利用と
カードローンのご契約

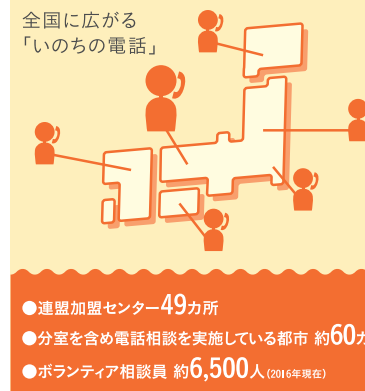
【寄付先】いのちの電話
(鳥取・島根・岡山・広島・山口)へ
合計 2,180,400円

●2012年度～2017年度の寄付実績

寄付年度	合計
2017年度	2,233,200円
2016年度	2,062,900円
2015年度	1,979,100円
2014年度	1,737,100円
2013年度	6,719,740円
2012年度	6,291,227円

「いのちの電話」とは？

「いのちの電話」の活動は、1953年に英国のロンドンで開始された自殺予防のための電話相談に端を発しています。日本ではドイツ人宣教師ルツ・ヘットカンフ女史を中心として準備され、1971年10月、東京でボランティア相談員による電話相談が開始されました。1977年、当時「いのちの電話」は全国にわずか5つのセンターでしたが、この市民運動を全国に展開するために、その中心的役割を担う組織が必要となり、「日本いのちの電話連盟」が結成されました。



つながっているのは
わずか約6%



まだまだ電話回線と相談員を増やすことが課題です。
24時間365日、眠らないダイヤルを受け続ける相談員は、臨床心理学の講座やロールプレイングなど、2年間の養成を経て認定されたボランティア。「相談者に心を寄せ、傾聴する訓練」をしっかりと積み、相談者の「死にたい」ということばの奥に隠れた、「生きたい」という想いを引出すため、日々尽力しています。

くわしくは 一般社団法人 日本いのちの電話連盟 <https://www.inochinodenwa.org>

「ポイント景品交換制度による 寄付のご報告」

最終交換年度となった2018年度も、たくさんのみなさまから、「社会貢献」の4つのコースを選択していただきました。みなさまからお寄せいただいたポイントをもとに、2019年6月に次のとおり寄付を行います。

社会貢献(寄付先)	寄付金額
東日本大震災遺児支援コース (あしなが育英会)	2,332,640円
盲導犬育成支援コース (島根あさひ訓練センター)	2,249,240円
いのちの電話支援コース (中国5県の「いのちの電話」)	935,760円 (各県187,152円)
災害復旧支援コース (日本財団)	3,254,680円
合計	8,772,320円

お知らせ

タメ・タメ・ハ プレゼントは、2018年9月のご案内分をもちまして終了いたしました。
長きにわたりご愛顧いただきありがとうございました。